

第12回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会報告

緩和ケアセンター事務局

平成29年10月24日（火）に第12回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会が山口大学医学部附属病院新中央診療棟 1階多目的室 1で開催されました。切れ目のない緩和ケアを実現するために、事例検討を通じて顔の見える緩和ケア連携体制の構築及び連携強化を図ることを目的とし、附属病院の職員の他にも、院外の医師、看護師、訪問看護師と様々な職種の方々が30名参加されました。

当院の緩和ケアセンター山縣医師より開会の挨拶があり、当院の末重千里看護師長を司会として、各施設より事例提示があった後、グループ形式で討議を行いました。

事例：「妹への働きかけにより退院が実現した独居肺がん事例」

山口大学医学部附属病院 院内がん看護認定看護師 佐伯礼子先生
訪問後ステーション早稲田イーライフ 原田夕香先生
山口宇部医療センター 緩和ケア科 小野田秀子先生

グループ討議では、様々な視点から活発に意見が出され、有意義な検討会となり無事終了することができました。

この度は、様々な職種の方々に検討会に御参加して頂き、誠にありがとうございます。本検討会は、今後も継続して行う予定ですので皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後ともご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

《検討会風景》



